

九州・アジア/中国ビジネス研究会

第 108 回研究会開催案内

日時：平成29年4月6日(木) 18:30 — 20:30

場所：エルガーラ・オフィス棟 6階601-2号室 久留米大学福岡サテライト教室
福岡市中央区天神1-4-2 大丸エルガーラ東館 TEL：092-737-3111
(エルガーラ・オフィス棟は天神 大丸エルガーラ東館と国体道路沿いで隣接するビルです)

テーマ：アルゴリズム革命に揺れる日本農業と地域経済

講師：徳石忠源(上海)投資顧問有限公司
マネージングディレクター 沼田 功 氏

[講師プロフィール]

中国の「農業投資」に衝撃を受け、帰国後学校で農業を学ぶ一方日本各地を視察。2016年6月G20(西安)農業起業家フォーラム日本代表の1社、同年11月より日台農業交流プロジェクト(農水省補助事業)。元来は楽天、サイバーエージェントなど約60社の株式公開を手掛けた「名うての上場請負人(日経新聞)」。成長加速型IPOをモットーに、手掛けた約半数の案件を東証一部にまで導く。昭和63年4月大和証券株式会社入社、平成12年7月ファイブアイズ・ネットワークス株式会社設立・代表取締役、平成13年12月株式会社サイバーエージェント監査役、平成25年7月徳石忠源(上海)投資管理有限公司(リンキンオリエント)マネージングディレクター。復旦大学(中国・上海)日本研究センター客員研究員。

[講演概要]

巷で話題の「シリコンバレー発アルゴリズム革命」は旧来産業を破壊しながら世界を巨大なイノベーションの渦に巻き込む。ドナルド・トランプ大統領の登場、Brexit(英国のEU離脱)等の社会の揺れは、テクノロジー進化に対する産業社会の揺り戻しにも見える。そしてこのアルゴリズム革命が、地方再生・農業再生の好機と講師独自の視点で結論づける。

この講演、まず産業投資目線で農業を分析する。次に産業が破壊・融合されるメカニズムを解き明かし、続いて「何をなすべきか？」を考察。そして最後に、変化の担い手は「職業的な革命家」ではなく「気ままな個人投資家」であることを明らかにする。講師は单身、世界の農地に出没、投資先探索の日々を過ごしている。

東京の元株屋が超本音で未来を予測するので、地域おこし関係者・農業関係者には、怒りに震える仮説となり、参加については十分な事前検討が必要になる。

会費：参加ご希望の方は以下に申込み、登録の上、当日会場入り口にて参加費1000円をお支払いください。

申込み先：(株)アジアソリューション・中山芳美 宛

電話：092-741-9338 E-mail：yoshimi@asol.ne.jp

九州・アジア/中国ビジネス研究会

主催：(一社)九州・アジアビジネス連携協議会 共催：九州中国研究会